

付託議案

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)(第一號)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)(第二號)
臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)(第三號)
高等商船學校及商船學校ノ移管ニ件フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)(第四號)

作業會計法中改正法律案(政府提出)(第六號)

勞働者年金保險特別會計法案(政府提出)(第七號)

昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第八號)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)(第九號)

昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(印刷局据置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)(第一〇號)

昭和十五年法律第七十九號改正法律案(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル件)(政府提出)(第一一號)

海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)(第一二號)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)(第一四號)

昭和十三年法律第二十二號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)(第一五號)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)(第五四號)

臨時軍事費特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五五號)

第七十九回帝國議會 院 昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件 委員會議錄(速記)第五回

第六類 第一號

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件 委員會議錄 第五回 昭和十七年一月二十八日

會議

昭和十七年一月二十八日(水曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 守屋 榮夫君
- 理事 國三郎君 理事 片岡 恒一君
- 理事 國光 五郎君 理事 片山 哲君
- 大内竹之助君 川副 隆君
- 北村 文衛君 木村 武雄君
- 田代 正治君 津倉 龜作君
- 服部 英明君 松井 郡治君
- 服部 正一君 木槍三四郎君
- 服部 岩吉君 井上 良次君
- 眞鍋 勝君

同月二十七日昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)及臨時軍事費特別會計法中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府政務總監 大野 綠一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員中野 寅吉君 議員川俣 清音君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案

(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)

高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ

關スル法律案(政府提出)

作業會計法中改正法律案(政府提出)

勞働者年金保險特別會計法案(政府提出)

昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(造船局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年法律第五十三號中改正法律案(印刷局据置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)

昭和十五年法律第七十九號改正法律案(陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特別ニ關スル件)(政府提出)

海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出)

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時軍事費特別會計法中改正法律案(政府提出)

府提出)

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、賀屋大藏大臣ガ御見エデアリマスカラ、昨日本委員會ニ併託サレマシタ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件、竝ニ臨時軍事費特別會計法中改正法律案ニ

關スル政府ノ説明ヲ承ルコトニ致シマス

賀屋大藏大臣

○賀屋國務大臣 本委員會ニ併託ト相成リマシタ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案外一件ニ付キ、其ノ提案ノ理由ヲ說明致シマス、先ツ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付キマシテハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、臨時軍事費ニ付キマシテハ、第七十二回帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、臨時軍事費特別會計ヲ設置シマシテ以來、第七十六回マデノ各帝國議會、及ビ先般開カレマシタル第十七回及ビ第七十八回ノ各臨時議會ノ協賛ヲ經マシテ、總額二百八十四億千七百六十餘圓ノ豫算ノ成立ヲ見タリデアリマシテ、其ノ所要財源中二十九億九千八百七十餘圓ニ付キマシテハ、之ヲ一般會計及ビ特別會計ヨリ繰入金等ヲ以テ充當致シ、差引不足スル二百五十四億千八百九十餘圓ニ付キマシテハ、現行ノ昭和十二年法律第八十四號ニ依リ、總額二百五十四億千九百萬圓ヲ限度ト致シマシテ、公債ノ發行ヲナシ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスガ、事態ノ推移ニ伴ヒマシテ、更ニ臨時軍事費百八十億圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスヤウニ相成リマシタノデアリマス、然ル所其ノ所要財源中三十億四千九百九十餘圓ニ付キマシテハ、一般會計及ビ特別會計ヨリ繰入金ヲ以テ賄フコトト致シ、又九億五千八百五十餘圓ニ付キマシテハ、軍事費納金、北支事件特別稅收入、其ノ他雜收入ヲ以テ充當致シマス、其ノ差引不足致シマスルモノガ百四十億四十餘萬圓デアリマス、之ニ付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマスル爲メ、昭和十二

年法律第八十四號中公債ノ發行限度ヲ、百四十億五十萬圓ガ增加スル必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ臨時軍事費特別會計法中改正法律案ニ付キマシテモ、本會議ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、今回改正ヲ致サントスルノハ三箇ノ點ニ關シテゴザイマス、其ノ第一點ハ、現下ノ時局ニ顧ミマスルニ、軍需品ノ製造工場等ニ於キマシテ、軍需品ノ原材料ノ一部ガ不足致シテ居リマスル時、軍ノ所有シテ居リマスル原材料ヲ當該工場等ニ供給シテ、軍需品ノ製造ヲ圓滑ナラシムル必要ガアリマスル場合、又戰地ニ於テ軍以外ニ所要物資ヲ有スル者ナク、軍自ラ之ヲ供給致サナケレバ、軍事行動ノ目的ヲ達成シマスルコトガ困難ナル場合等ニ於キマシテハ、臨時軍事費特別會計ニ屬スル物資ヲ軍以外ノ者ニ賣拂ヒ得ルコトト致シタ

イノデアリマス

第二點ハ、戰地ニ於テ所要ノ物資ヲ軍以外ノ者ニ於テ取得シ、之ヲ必要トスル地ニ輸送スルコトハ、戰地ノ實情カラ致シマシテ、當分ノ中ハ甚ダ困難或ハ不適當ノ狀態デアリマスルノデ、是等物資ノ取得、輸送、賣却等ヲ軍ニ於テ擔當致シマスル場合ノ會計經理ニ付キマシテ、臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出トシテ經理スルノヲ、此ノ際トシテ最モ實情ニ即スル方法ト存ゼラレマスルノデ、其ノ途ヲ開クノデアリマス

第三ノ點ハ、前述ノ第一點ノ改正ノ結果、臨時軍事費特別會計ニ依リマシテ、現在ノ臨時陸軍材料資金特別會計ノ働キト同様ニ作用ガ行ハレルコトニナリマス、仍テ臨時陸軍材料資金特別會計ノ年度ヲ終結スルコ

トト致シマス

以上ノ説明ヲ承ルコトニ致シマス

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ閉キマス、賀屋大藏大臣ガ御見エデアリマスカラ、昨日本委員會ニ併託サレマシタ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件、竝ニ臨時軍事費特別會計法中改正法律案ニ

トト致シタイト存ズルノデアリマス、仍テ之ニ關スル規定ヲ設ケントスルモノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒二件共御審議ノ上御賛成アラントヲ御願ヒ申上ゲマス

○守屋委員長 中野寅吉君

○中野寅吉君 産金ノコトデ御伺ヒシマス、産金ノ方ハ産金振興株式會社ト云フ國策會社ガアリマシテ、大イニ金ガ出ルモノト期待シテ居リマシタ所ガ、餘リ成績ガ好クナイヤウニ聞キマス、ソレデ内地ノ産金ニ融資シタガ、思フ通りニ回收モ出来ナイ、又成績モ擧ラナカツタ爲ニ、當今ハ産金振興會社ノ方ハ中々金ヲ出シ澁ツテ居ル、併シ振興會社ノ方ヘ行ツテ聽クト、大藏省ノ方デ承認ヲ與ヘナイカラ出セナイト言フ、元々アノ制度ヲ設ケタノハ、御承知ノ通り金貨ノ改鑄ニ依ツテ、即チ金一匁ヲ以テ五圓トスルト云フ時代ニ於テ格ヘタ制度デ、金貨ハ大キイ、ソレデソレヲ殆ド半分位ニ小サクシテ、改鑄ノ結果益金ガ儘カ八億圓程出タ、ソレヲ他ノ財政ニ使ハズ、金貨ノ改鑄ニ依ツテ得タル此ノ金デ、金資金特別會計ヲ設ケテヤラウト云フコトニシタノダ、ソレハ金ノ山ヲ見付ケテモ皆金持ノ方ニ取ラレテシマフカラ、金ヲ見付ケタ人モ鑛脈ニ木ノ葉ナドヲ冠セテ出サナイデ置ク、ソレデハ金増産ニ困ルカラト云フノデ、サウ云フ金ヲ採掘シ得ザル所ノ資本ノナイ者ニモ融資シテヤラウト云フ仕組デ出来タノデアリマス、是ハ間違ヒナイ、ソレデスカラ最初其ノ制度ヲ決メタ時ハ、此ノ資金ハ全部無クナツテモ宜イ、金貨ノ改鑄ニ依ツテ出来タ金ダカラ無クナツテモ元々ダ、ソレダ

カラ思ヒ切ツテ此ノ金ヲ活用シヨウト云フ制度デアツタノデアリマス、然ルニ資金會社ガ出来テヤラシテ見ルト、内地モ思フ通りニ行カス、所ガ今度其ノヤリ方ガ朝鮮ニマデモ影響シテ、朝鮮ノ金山モ内地ノ金山ト一緒ニ見テ金ヲ出サス、私ハ專門家デナイカラ能ク分リマセヌガ、朝鮮ノ金ノ鑛脈ハ内地ノ鑛脈ヨリハ非常ニ宜イト云フコトダ、是ハ宇垣サンガ總督時代カラ私ノ知人穂積殖産局長カラ能ク聽イテ知ツテ居ル脈ハ内地ノ脈ヨリモ確カニ正シイ、ソレダカラヤツテ見ルト朝鮮ノ方ハ成績ガ擧ル、斯ウ云フ風ニ内地ノ金山デ失敗シタカラ朝鮮ノ方マデ出シ澁ル詰リ羹ニ懲リテ膾ヲ吹クヤウナヤリ方ヲヤツテ居ルト云フコトヲ今聞イテ居リマス、ソコデ向フノ方ノ様子ヲ聞クト——朝鮮ハ舊曆デスガ、舊曆ノ年末ノ支拂ニモ困ツテ、騒動ガ起キタト云フコトマデ聞イテ居ル、ソレデハ朝鮮統治ノ上ニ於テモ大影響ガアル、ドウモ吾々正月ノ暮シモ立テ得ナイヤウナ制度ヲヤルニ於テハ、チト考ヘガアルト云フヤウナ風潮ニ萬一ナツテハ困ル、マダ朝鮮ハフハシテ居ツテ固マラナイ、朝鮮ガ固マラナイノニ、其ノ朝鮮ヲ飛ビ越シテ、滿洲ヤ支那ノ方ニウツツテ拔カシテ居ルヤウナコトデハ困ル、是ハ朝鮮總督府ニ於テモ、モウ少シ朝鮮ノ爲ニハ思ヒ切ツテ大藏大臣カラ金ヲ貰ツテ宜シイ、何モ遠慮スルコトハナイ、朝鮮ト云フモノハ大陸ニ發展シテ行ク所ノ一ツノ航空母艦デス、其ノ足許デサウ云フヤウナ形勢デハ、是ハ由々シキ大事ダト私ハ思フ、現今産金ノ狀況ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、大藏大臣ハ其ノ資金ハ思ヒ切ツテ出シテ下サルカ、又今ハ海外取引モ餘

リナイカラ、取引先ハ大抵札デ間ニ合フノデ金ハ要ラナイカラ、金ハ餘リ欲シクナイ、斯ウ云フ考ヘナラバ、娘ヤ母親ノ指輪カラ帶留マデ、金ヲ政府ニ賣リマセウト云フヤウナコトヲヤツタノヲ取消スカ、金ヲ餘計出スカ、ドウツカニシナケレバ、蛇ノ生殺シデハ社會ガ亂レルト思フ、殊ニ新附ノ民ヲ導ク上ニ大ナル影響ガアルト思フカラ、一ツ餘計ニ資金ヲ出シテ下サルノカ、又出シ澁ルノカト云フコトヲ伺ヒタイ

マシタ、一方ニ於テハ國民ノ日常生活ニ大切デアアル木綿ノ原料ノ棉花デサヘモ輸入ラ大イニ減シマシテ、サウシテ國防上必要ナルモノノ輸入ニ充テル、一方ニ於キマシテハ一般ニ輸出ヲ獎勵致シマシテ、海外ニ資シテ得テ輸入ノ資金ニ充テル、尙ホ金ヲ大イニ増産シテ之ニ充テル、増産ダケデ足りマセヌデ、國內ノ各人ノ持ツテ居ル金モ同收シテ之ニ充テルト云フ政策ヲ執ツテ居リマシタ爲ニ、四年有半ノ支那事變ヲ續ケマシテモ、我が國ノ戦力ハ涸渴スルドコロデナク、益々増強致シマシテ、今日ノ如キ大ナル戰果ヲ擧ゲテ、物質的ニモ有力ナル基礎ニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ效果ハ蓋シ非常ナモノデアツタラウト思フノデアリマス、所ガ形勢ガ一變致シマシテ、昨年ノ七月カラハ米國ハ資産凍結ヲシテ、重要物資ノ輸入ヲ我が國ニ致サナクナリマシタ爲ニ、金ヲ得テ米國ニ送リマシテモ、何等效用ヲ致サヌ時代ニナリ、一般ノ輸出獎勵ト云フコトモ、其ノ效果ヲ失フヤウナ時代ニ相成ツタノデアリマス、更ニ昨年ノ十二月カラ米英ト開戦ヲ致シマシテ、全ク從來ノ意味ニ於ケル金ノ效用ハ無クナツタト云フコトニ相成ツタノデアリマス、隨テ産金政策ニ付テモ相當ノ變化ガアルト云フコトハ、是亦已ムヲ得ナイ現狀デアリマス、只今ノ時期ニ於テ凡ニル金モ、凡ニル物モ、我が國國防力ノ増強ニ用ヒナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ資金ハ日本銀行ニ保有ヲ致シテ居リマシテ、是ハ金ノ價格ヲ評價替デ増加致シマシタ日本銀行ノ利益ヲ國庫ニ收メマシテ設ケタコトハ、大體御話ノヤウナ趣意デアリマス、ソレデ金ニ大イニ主力ヲ注イデ參リマシタガ、今日ニ於テハ

モウ一ツハ所要資金ヲ何百万圓カ纏メテ産金會社ニ何故豫メ前渡シニヤツテ置カナイカ、一々五萬圓、十萬圓ト云フモノマデモ、大藏省ニ行カナケレバ金ヲ出シテ呉レナイトハ不便至極デナイカ、民法ノ未成年者ノ規定ヲ見マシテモ、目的ヲ定メテ出シタモノハ、親デアツテモ干渉出来ナイト同ジデアル、況ヤ成年以上ノ立派ナ人が會社ニ何人モ居ル、元大藏省ニ居ツタ人モ居レバ、元農林省ニ居ツタ人モ居ル、商工省ニ居ツタ人モ居ル、ソレヲ未成年者ト同ジヤウニ見ラレテ一々監視サレテハ、嚙ゾ迷惑シテ居ルコトト思フ、此ノ大藏省ト會社關係ヲ圓ク行クヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 産金對策ニ付キマシテハ、其ノ根本ノ理由ハ、只今御話ガアリマシタヤウニ、金ヲ増産致シマシテ之ヲ米國ニ送レバ、必ず一定ノ價格デ買上ゲマス實情デアリマシタ、而シテ米國ヨリ日本ノ進歩發展ノ爲ニ必要ナル國防資源、製品等ノ多量輸入ガ出来ル状態デアリマシテ、又米國ニ資金ヲ持テバ、米國以外ノ國カラモ有要ナモノヲ輸入シ得ル時代デアリマシテ、是等ノ輸入ヲ増加スルコトガ絕對ニ必要デアリ

迷惑シテ居ルコトト思フ、此ノ大藏省ト會社關係ヲ圓ク行クヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 産金對策ニ付キマシテハ、其ノ根本ノ理由ハ、只今御話ガアリマシタヤウニ、金ヲ増産致シマシテ之ヲ米國ニ送レバ、必ず一定ノ價格デ買上ゲマス實情デアリマシタ、而シテ米國ヨリ日本ノ進歩發展ノ爲ニ必要ナル國防資源、製品等ノ多量輸入ガ出来ル状態デアリマシテ、又米國ニ資金ヲ持テバ、米國以外ノ國カラモ有要ナモノヲ輸入シ得ル時代デアリマシテ、是等ノ輸入ヲ増加スルコトガ絕對ニ必要デアリ

迷惑シテ居ルコトト思フ、此ノ大藏省ト會社關係ヲ圓ク行クヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

迷惑シテ居ルコトト思フ、此ノ大藏省ト會社關係ヲ圓ク行クヤウニシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

右申上デマシタ效果ガナイコトニナリマシタ、隨ヒマシテ、何ヲ措イテモ全部金ニ主力ヲ注グト云フコトデハナク、寧ロ鐵、石炭其ノ他ノ非鐵金屬ト云フモノガ重要ニナツテ參リマシタ結果、一國ノ資金ヲ用ヒル方向ト致シマシテモ、變化致シマスルコトハ是ハ已ムヲ得ナイ、只今デハ少シデモ金ガ出マシテ「インフレ」ニナルコトハ、一方ニ於テ防ガナケレバナラナイ、又出ス金ハ極メテ適切ナル所ニ出サナケレバナラヌト云フコトニ相成ツタノデアリマス、然ラバ金ニ對シテドウ云フ風ニ行クカト申シマスルト、右様ニ大キナ舞臺ニ變リマシタガ、一方我ガ國ノ産金ノ獎勵政策ハ相當ニ成績ヲ擧ゲマシタガ、非常ニ多額ニ出ルト云フコトニハ相成リマセヌ次第デアリマス、隨テ各般ノ事情ヲ考ヘマシテ、只今デハ現在位ノ年産ハ維持致ス方ガ宜イノデハナイカ、更ニ大イニ増産ヲスルト云フコトハ困難デモアリ、又ソレ程力癩ヲ入レナクモ宜シイ、唯昨年アタリノ大體ノ産額ト云フモノヲ維持シテ行クノガ宜シイノデハナイカ、併シナガラ南方ニ我ガ力ガ伸ビマシテ、新タナル占領地域等ニ於キマシテハ、從來カラ見マシテ内地ヨリモ餘程條件好ク金ガ出ルノデハナイカト思ハレル點モアリマスルカラ、斯ウ云フ土地ノ産金ニ付テモ、今後調査計畫ヲ致シマシテ、ドレ位内地、朝鮮カラ出シ、又斯カル南方ノ新占領地ノ中カラ出スカト云フコトノ計畫ヲ立テナケレバナラヌト思ツテ居リマス、現狀デハ産金政策ノ基本ハ餘程變リマシタガ、然ラバ金ノ産出ハ内地、朝鮮デモウヤラナクテモ宜シイ、斯ウハ決シテ考ヘテ居リマセヌガ、右申シマシタヤウナコトデアリマスカラ、何デモ彼デモ金

ノ方ニ努力、資材、資金ヲ注ギ込ムト云フコトハ大分變ツテ參リマシタ、隨テ只今デハ十分採算ノ引合フヤウナ、成績ノ好イ金山ヲ維持シテ行クト云フコトニナリマシタノデ、採算上非常ニ危険ガアリマシヤウナモノニマデ、進ンデ資金ヲ出スト云フコトハ致サヌヤウナ狀況ニ相成ツテ居リマス、尙ホ併シナガラ今申上デマシタヤウニ、産金事業ノ獎勵ト云フコトヲ止メル譯デモアリマセヌ、大體今位ノ年産額ハ必要ナリト思ツテ居リマス、日本産金會社ノ運用等モ、決シテ粗略ニハ相成リマセヌ、只今ノ行キ方モ相當ニ力ヲ盡シテ居ルト思ヒマスルガ、又圓滑ヲ缺キマス部面ガアリマスレバ、出來ルダケ是ハ改善ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス

○中野實吉君 能ク分リマシタ、内地ノ方ハサウ云フコトデアリマスガ、朝鮮ノ方ハ新附ノ民デアリマシテ、内地人程頭ガ進ンデ居ナイノガ多イノデスカラ、サウ云フモノヲ困ラカスト云フコトニナル、政治ニ信頼ヲ置カヌコトニナリマスカラ、特ニ朝鮮ノ方ダケハ大藏省トシテ力ヲ入レテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ政務總監カラモ御答ヘラ願ヒマス

○大野政府委員 只今中野君カラ朝鮮ノ産金ニ付テ、朝鮮ノ特殊ノ事情ヲ御承知ニナツテ居ル關係上、非常ニ朝鮮産金界ニ御同情ノアル御質疑ガアリマシタ、我ガ朝鮮ニ於テモ、從前ヨリ産金ニハ非常ニ力ヲ入レテ居ツタノデアリマスルガ、先程大藏大臣ヨリ御話ガアリマシタヤウニ、産金界モ全體ノ情勢ニ於テハ可ナリ變ツテ參ツタノデアリマス、サリナガラ今日生産シテ居ル程度ノ産金ニ付テハ、只今モ御説明ガアリマシタヤウニ、依然トシテ續ケテ參ルコトニナツテ居リマシテ、左様ナ意味ニ於テ中央トモ連絡ヲ致シマシテ、ソレモ産金ノ獎勵ニ努力ヲ致シテ居ツタノデアリマス、偶、最近ニ於キマシテ、色々ト仕事ノ連絡ノ上ニ於テ、中央ノ産金會社又朝鮮ノ支社トノ間ニ於テ、色々ト事情ガ變リマシタ爲ニ、御話ノヤウニ金融ガ可ナリ逼迫シタ時ガアリマシタノデ、其ノ事情ヲ詳細大藏省ノ方ニモ申シマスシ、又中央ノ會社等ニモソレモ關係ノ者カラ連絡ヲ致シマシテ、只今ノ大藏大臣ノ申サレタ御趣旨ニ於キマシテ、詰リ相當有望デアリマス山ニ付キマシテハ、左様ナ懸念ノナイヤウニ金融ノ配慮ヲ仰グヤウニ、連絡ヲシ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○守屋委員長 中野君、テヨツト御相談シマスガ、川俣君カラ大藏大臣ニ簡單ニ御質問ガアルサウデスガ、許シテ宜シウゴザイマス

○中野實吉君 宜シウゴザイマス

○守屋委員長 川俣君、簡單ニ御願ヒシマス

○川俣清吉君 他ノ委員會デ大藏大臣ニ御尋ネ致シタイト思ツタノデスケレドモ、其ノ機會ヲ得ナイノデ、此處デ二點伺ヒタイト存ジマス、一ツハ今中野君ノ御尋ネニナツタ日本産金會社ノ點ト、モウ一ツハ労働者年金ノ點デアリマス、日本産金會社ノ設立ニ當リマシテハ、今大臣ノ御答辯ノ通りデアリマスガ、日本産金ガ現在稼行致シテ居ル鑛山ハ二十四、五鑛山デアアル、併シテ日本産金ガ實際自分デ所有シテ居ルノハ十六カト思ヒマス、其ノ中ノ四鑛山ヲ除イタ外ハ金バカリデハナイ、銅、銀、亞鉛其ノ他

モ出テ居リマス、日本内地ノ鑛脈ノ狀態、鑛床狀態ガ金ダケノ鑛山ト云フノニハ不足ナンデス、朝鮮、北海道ヲ除キマス、日本内地ノ鑛床狀態ト云フモノハ、他ノ金屬ト一緒ニナツテ居ル、隨テ内地ダケニ於テ日本産金會社ガ事業ヲ營ム程ノ價值ハナイノデアリマス、又一方帝國鑛發モ現在約二十鑛山經營致シテ居リマスケレドモ、金ノ含マレナイ鑛山ガ三鑛山アル、アトノ十七鑛山ハヤハリ金ヲ產出致シテ居ル、サウスルト同ジ國策會社ガ北海道、朝鮮ヲ除イタ本土ニ於キマシテハ、殆ド同ジ仕事ヲヤツテ居ル、所ガ現在ノヤウナ技術者ノ不足ノ場合、殊ニ南方ニ多クノ熟練工及ビ技術員ヲ派遣シナケレバナラナイト云フ現在ニ於テ、此ノ兩國策會社ガ同ジコトヲスル爲ニ二社ナナケレバナラナイト云フ事情ハナイ、産金ノ方ノコトニ付テハ、是ハ大臣ノ御答辯ノ通りデアリマス、其ノ經營狀態ノ内地ニ置カナケレバナラヌコトハナイ、寧ロ産金本位行ハルベキモノデアリマスナラバ、朝鮮或ハ北海道ニ於テ行フノガ至當デアリマシテ、内地ノ産金モ決シテ微々タルモノデハアリマセヌケレドモ、産金會社ヲシテ必ズシモ行ハシメナケレバナラナイ理由ハナイト思フ、ソコデ私ハ技術員ノ動員、及ビ資金ノ動員カラ見マシテモ、民間會社ノ整理統合ハ勿論必要デアリ、官廳ニ於キマシテモ、當然私ハ考ヘナケレバナラヌト思フ、又産金ノ最モ緊迫セル狀態ニ於テ、産金會社ガ先ニ出來、他ノ非金屬ノ重要性カラ、鑛發ガ出來マシタ、事情ハサウデアリマスケレドモ、現在ニ於テハ當然是ハ統合サルベキデアルト考ヘテ居リマス、之ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ、

時間ヲ儉約スル爲ニモウ一點續イテ申上ゲ
マスガ、昨年ノ議會ヲ通りマシタ労働者年
金保險法デゴザイマスガ、此ノ議會ヲ通り
マシタ際ニ政府ノ答辯ニ依リマス、是ハ
鑛山ノ鑛夫ニ於キマシテハ十五年後、一般
ノ工場労働者ニ於キマシテハ二十年後ニ、
初メテ労働者ノ收入ニナルベキ老後ノ保險
金デアリマス、今日最モ必要ナコトハ、如
何ニ勞務動員計畫ヲ立テ、如何ニ勞務管理
ヲシテ生産擴充ニ向ハシムルカト云フコト
ガ、資材及ビ資金ト同様、ソレ以上必要性
ヲ持ツテ來テ居ルト思フ、然ルニ今日マデ
ノ労働者ノ状態ハ、「サラリーマン」デモ同
ジデアリマスガ、一定年限經ツタ後ノ老後
ノ問題デスガ、「サラリーマン」デアリマス
レバ、所謂恩給ヲ取ル、或ハ退職手当ヲ以
テ商業ヲ營ム、或ハ中小工業ヲ營ム、或ハ
歸農シテ老後ノ職業ニ就クノデアリマス、
今日ハ其ノ老後ノ職業ト云フモノガ目安ヲ
失ツテ居ル、整理合同ニ依ツテ目安ヲ失ツ
テ居ル、ソコデ老後ヲドウスルカト云フコ
トニ付キマシテハ、是ハ皆見透シラ失ツテ
居ル、ソコデ何等カノ形ヲ將來ノ一定年限
後ニ於ケル所ノ生活ノ問題ヲ考ヘテヤラナ
ケレバナラヌト思フ、特ニ労働者ノ場合ニ
於キマシテハ、青年期ニ於テ相當ノ勞力ヲ
費シテ居リマスカラ、其ノ老後ノ問題ヲ相當
考ヘテヤラナケレバ、生産力擴充ニ當ルベク
勞力ノ十分ヲ保有ラ得ラレナイコトニ相成
ルト思フ、ソコデサウ云フ點カラ政府ガ率
先サレマシテ、勞務者年金制度ヲ確立
サレマシテ、其ノ方法ヲ講ゼラレタ、是ハ老
後ノ問題トシテ極ク微力ナ問題デアツテ、
之ニ依ツテ十分達成ハ出來マセヌケレド
モ、マア考ヘラレタコトハ至當ナコトデア

ル、併シナガラ問題ハ何處ニアルカト云フ
ト、此ノ積立金ヲ大藏省ノ御考ヘニ依リマ
スト預金部ニ入レテシマフト云フコトデア
リマス、労働者ノ氣持カラスルナラバ、是
ハ掛金デアアルシ、積立金デアアルカラ、之ヲ
其ノ中ノ一部ハ労働者ノ所謂福利施設、或
ハ労働者ノ再教育、或ハ労働者ノ健康、サ
ウ云フ方面ニ使用サルベキモノデアルト云
フ風ニ考ヘルバカリデナクシテ、サウ云フ
方向ヲ辿ツテ此ノ際勞務動員計畫ヲ擴充
シ、増強スル必要ガアルノデハナイカ、サ
ウデナク、唯預金部ヘ入レテシマフト、何
ダカソコニ自分達ノ積ンデ行ツタ金ガ何處
ニ行ツタカ分ラナイト云フコトニナルト、
ソコニ旨味ガナクナリ、希望ガナクナル、
イキナリ之ヲ大藏省ノ預金部ニ入レナイ
デ、大藏省ナリ或ハ産業ヲ受持ツテ居ル商
工省、或ハ厚生省ト云フヤウナモノト、三
者一體ニナツテ一ツノ獨立ノ機關ヲ作ツ
テ、ソコデ運用スル、其ノ運用ニハヤハリ
業者モ入ルシ、被保險者モ入ルト云フヤウ
ナコトデ、ソコデ運用スル、若シモ一般會
計ニ必要デアリマスナラバ、ソコカラ分ケ
テ費フコトモ宜イデアリマセウ、或ハ預金
部ニ入レルト云フコトモ、其ノ運用機關デ
取計ラウベキデ、ドウモ政府ノ方ニ眞ツ直
グニ入レテ、十五年モ二十年モ經タナイト
使ヘナイヤウニ押ヘテ置クト云フコトハ宜
クナイ、是デハ労働者ヲ奮起セシメ、志氣
ヲ旺盛ナラシムルト云フコトハ出來ナイ、
ドウシテモ獨立機關ヲ作ツテ、自分ノ金ダ
ト云フコトデ運用スルコトノ方ガモツト適
切デアアル、隨テ當時ノ保險制度調査會ニ於
キマシテハ、斯カル希望決議ヲ附ケテ居ル
管デアリマス、此ノ希望決議ニ從ハナイデ、

又去年ノ議會ニ於ケル政府ノ答辯ヲ見マシ
テモ、斯カル運用ヲ致スト云フ答辯デアツ
タガ、今日出テ參リマシタ所ヲ見ルト、之
ヲ一般會計ノ預金部ニ入レテシマフヤウナ
趣旨ニナツテ居リマスガ、是ハ私ハ當然變
ヘテ行カケレバナラヌト思ヒマス、此ノ
點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマス
○賀屋國務大臣 先ツ第一點ニ御答ヘ申上
ゲマスガ、金ガ他ノ鑛物ト共ニ生産サレマ
ス結果、金ノミノ產出ヲ目的トスルモノガ
技術上特ニ必要性ガ薄イト云フ意味ノコト
ハ、洵ニ是ハ一理アルト私モ存ジマス、外
ノ帝國鑛發ガヤツテ居ルモノハ、何レモ銅
ヲ出ス、或ハ金ヲ出ス、成程是ハ一理アル
ト思ヒマス、併シハ生産技術ノ方面カラ
見マシタコトデアリマシテ、私ト致シマシ
テハ、寧ろ商工大臣ノ方デ能ク考フベキ問
題デアリマスルシ、尙ホ政策全體ヲ統合ス
ルカドウカト云フコトハ、外ノ觀點モアリ
マスルノデ、只今ノ御意見ハ承ツテ置クコ
トニ止メタイト思ヒマス
第二ノ労働者年金ノ積立資金ノ運用ノ問
題デゴザイマスガ、是ハ今日政府ノ考ヘト
致シマシテハ、御承知ノ通り戰爭ニ勝抜ク
爲ノ直接戰費ガ一年ニ二百億近クモ要ルト
云フ状態デアリマス、又此ノ勝抜ク爲ノ背
後ノ力ノ生産力擴充ニ數十億ヲ要スルト云
フコトデアリマシテ、數年前カラ見レバ、
實ニ隔世ノ感ガアル、ドウシテサウ云フ大
キイ金ガ出來ルカト思フ程ノ金ヲ、所謂兌
換券ノ増發ニ依ラズシテ作り上ゲナケレバ
ナラヌト云フ状態デアリマスルカラ、此ノ
非常ナ事態ニ於キマシテ資金動員ヲ今シテ
居ル所デアリマス、隨テ動員ノ最高能率
ヲ發揮致シマスル爲ニハ、所謂バラ／＼デ

ナクシテ、一元的ニ運用シテ行キタイト云
フ觀點カラ、一元的ニ集メル方向ニ生産全
般ヲ取ル、是ハ國家ノ發展及ビ自立自衛ノ
爲ニ已ムヲ得ヌコトト考ヘマシテ、左様ナ
方向ヲ取ツテ居リマス、唯、併シ茲ニ一言申
上ゲナケレバナリマセヌノハ、ソレナラバ、
所謂生産擴充ノ株ト社債、ソレカラ戰費ノ
公債以外ニ使ハヌカト申シマス、ヤハリ
御話ノヤウニ、又吾々モ申シテ居リマスル
ヤウニ、銃後ノ國民ガ知識的ニモ、健康的
ニモ、十分ニ銃後ノ國民トシテ、前線ニ兵
士ヲ送ル源泉トナリ、銃後ノ生産、運輸、
其ノ他ノ必要ナル活動ヲナスノ十分ナ資
格ノアル者ニナラナクテハナリマセヌ、隨
テ銃後ノ福利増進ナドニ一部ノ資金ヲ向ケ
ルト云フコトモ亦必要デ、資金全體ノ中ヲ、
サウ云フ全體の、綜合的觀點カラ、幾ラド
チラニ向ケ、幾ラドチラニ向ケルト云フコ
トヲ適切ニ考ヘテ行クノハ、所謂國家總力
發揮ノ上ニ必要デアルト思ヒマス、隨テ或
ル方ニ集リマシタ資金ヲソダケ使フト云
フコトハ、平時トシテハ、是モ中々意味ノア
ル政策ダト思ヒマスガ、今日ハ其ノ政策ヲ
採リタクナイ、皆、一本ニ一元的ニ集メテ、
サウシテ又其ノ方面ニ必要ガアレバソチラ
ヘ返スト云フ行キ方ニ致シタイ、現ニ御話
ノ如ク、大藏省預金部ニ預入スルコトニナ
ツテ居リマスガ、預金部資金ハ從來モ御承
知ノ通り或ハ公債ノ消化ニ用ヒ、或ハ産業
資金ニ用ヒマスガ、同時ニ國民生活ニ關係
致シマスル直接ノ方ニモ從來ズツト用ヒテ
居リマス、今回ハ労働者年金保險ニ集リマ
シタ金ハ、全部労働者ノ福利施設ニ行クト
云フ風ニハ致シマセヌデ、全部纏メテ見テ、
又必要ナル限度ハ労働者ノ福利施設ノ方ニ

金ヲ向ケタイ、一應皆集メテ、其ノ上デ再分配ト申シマスカ、サウ致シタイト云フ觀點ニ致シマシタ譯デアリマシテ、決シテ其ノ方面ヲ疎カニ致シテ居リマスル譯デアリマセヌ、右様ナ考ヘ方デアリマスカラ、何卒御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○守屋委員長 服部君カラモ牽聯シテ質問ガアリマス、服部君、簡單ニ一ツヤツテ下サイ

○服部(英)委員 産金ニ付テノ御話ヲ色々承リマシタガ、國際情勢ノ變化致シテ參リマシタ今日、金ノ必要ト云フモノガ大イニ緩和セラレルト云フコトデ、産金業者ハ非常ニ脅威ヲ感ジテ居リマス、只今大藏大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、現在此ノ程度ノ産金ハ必要ト認メルト云フヤウナ御意見デアリマシタ、ソレハ諒ト致シマスガ、然ラバ今後ハ從來ノ如ク産金事業ニ對シテ、從來サウデアツタ如ク、加速度的ニ産出セシムルト云フ御考ヘハナイカ、此ノ程度デ――産金業ニ付テハ此ノ程度デ金ノ必要ト云フモノハ宜シイ、斯ウ云フ御考ヘデアリマスカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、今後今マデノヤウニ産金ヲ奨勵シ、生産セシムルト云フヤウナ御意見ハ薄ライデ參リマシタカ、ソレカラ第二ハ、金ノ買上ヲ日本銀行ヲシテサシメテ居ルガ、尙ホ繼續シテ金ノ買上ト云フコトハナササルノデアリマスカ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

ニ獎勵ヲ致スト云フコトハアリマセヌ、大體極ク大キク申上ゲマス、現狀維持デアリ、併シソレモ今申シマシタ外地トノ關聯等、多少方策ヲ考ヘナケレバナラヌ點ガアリマスガ、マア現狀維持ト申上ゲルノデアリマス、ソレカラ金ノ日本銀行買上ハ、是ハ繼續シテ參リマス、出マシタ産金ヲ集中シテ置イテ、適切ニ使用法ヲ考ヘナケレバナラヌ點ガマダアリマスカラ、サウ致シタイト思ヒマス

○中野寅吉君 産金ノコトハ是デ終リマス、泉理事カラ二十分位デ切上ゲト云フコトデスカラ、其ノ通り致シマスガ、服部君ヤ川俣君ノ横槍ガ入ツタカラ、其ノ分ダケハ時間ヲ増シテ戴キタイト思ヒマス今度ハ咸中線ニ付テ伺ヒマス、此ノ咸中線ト云フノハ、委員長守屋君ハ朝鮮ニ居ラレタカラ御承知デアラウト思ヒマスガ、知ラナイ人モアラウカト思ヒマスカラ少シ説明ヲ致シマス、是ハ咸鏡南道ノ咸興ヨリ國境ノ中江鎮ニ至ル鐵道デアリマス、是ハ私ハ途中マデ二度調査シマシタ、昨年モ行キマシタ、一昨年モ行キマシタ、昨年ハ歸リニ總督府ニ寄リマシタガ、政務總監モ財務局長モ御留守デアリマスガ、唯名刺ダケ置イテ失禮シタノデアリマスガ、是ハ最モ必要ナ鐵道ダト確信致シマス、其ノ調査ハ、大正八年ニ朝鮮鐵道株式會社ト云フ會社ノアツタ際ニ、大川平三郎社長ガ相當ノ金ヲ出シテ、此ノ線ノ調査ヲシタデアリマス、又咸興商工會議所デモ調査シマシタ、ソレデ其ノ後ニ興南ト云フ港ガ出來マシタ、是ハ野口遵サンノヤツテ居ル工場ノ私設港、即チ會社專用ノ港デス、其ノ興南カラ隣接ノ西湖津ノ方ニ港ヲ築カウト云フヤウナ話モアツタノデス

ガ、西湖津ハ水深モ淺ク、風浪モ高ク、沖合マデ船デ荷ヲ送り、興南ニ廻サナクテハナラヌ不便ノ地點デ、工費ガ存外多額ニ要リマセウ、私ガ昨年、一昨年二度踏査シタ結果、又相當ノ技術家ニ聽イタ所ニ依ルト、西湖津ヨリモ退潮ト云フ所ノ方ガ非常ニ立派ト天然ノ港灣デ、工費モ多額ニ要セズ、使用水面モ呂湖ト云フ隣リノ灣ヲ入レルト二十ニ、三万坪以上モアラウカ、アア立派ナ港灣ダ、斯ウ云フ良イ港灣ヲ、ナゼ世ニ出シテ利用シナイノカト恍惚トシテ見テ來タノデアリマス、又咸中線ノ沿線ノ物資ハ相當アル、以前ハ黃草嶺ト云フ峰ガアツテ、鐵道工事ハ困難デアラウト云フヤウナコトデアツタガ、朝鮮鑿素ガ水力電氣ヲヤツタノデ、黃草嶺ノ峻モ容易ニ征服シ得ルト云フコトニナツタノデアリマス、ソレデスカラ、此ノ線ニ依ツテ中興鎮カラ對岸ノ臨江、ソレカラ左ニ折レテ通化ニ行キ、又眞直グニ行ツテ吉林カラ新京ノ方マデ行ケル、此ノ滿洲ノ相當肥沃ノ平野ヲ連絡シテ、サウシテ未ダ地上、地下資源モ未開ノ狀況ニアル、此ノ咸興カラ中江鎮ニ至ルマデノ沿道カラ退潮港ヘ出スト云フコトニナレバ、内地トモ非常ニ近クナル、今試ミニ調べ見ルト、此ノ退潮カラ新潟マデハ四百七十二哩、伏木マデハ四百七十哩、敦賀マデハ四百六十七哩、境マデハ三百七十哩、釜山マデ三百四十二哩、ソレヲ今ノ所デハ滿浦鎮ノ方ヲ遠廻リシテ鎮南浦ニ品物ヲ出シテ居ルカラ、大阪方面ニ行ク物資其ノ他ハ非常ニ飽和状態ニナツテ、關釜連絡船ノ如キハ、先日奉天ニ行ツタ友人ノ話ヲ聞クト、四日間モ下關ノ宿屋ノ飯ヲ食ツテ居ツタト云フコトデアル、南方ニバカリ力ヲ注イデ北ノ方ヲ開却スルカラ、斯ウ云フヤウナ状態ニナル、此ノ退潮港ヲヤリ、サウシテ此ノ鐵道ヲ敷設スレバ、非常ニ利益ヲ増スト私ハ思フノデアリマス、モツト細カナ材料ハ澤山アリマスカラ、色々詳シク述べタイノデスケレドモ、知ツタコトモアルシ、知ラナイコトモアル、知ラナイコトヲ又知ツタカ振りシテ喋レバ失敗スルカラ、私ハ材料ダケハアリマスガ後日ニ譲リマシテ、大體政務總監、財務局長カラ、此ノ咸中線ニ對スル御意見ヲ承ツテ置キタイト

○大野政府委員 只今ノ咸中線ノ問題ハ、總督府ニ於テモ色々調査ヲ致シテ居リマス、或ル程度測量ヲ致シタコトモアリマス、只今出來テ居ル鐵道、又改修ヲ致シテ居ル鐵道、今後付ケル鐵道、澤山アリマスルガ、今後敷設致シマスルトスレバ、可ナリ大切ナ鐵道ダト考ヘテ居リマス、目今ノ所デハ、今日着手致シテ居リマスモノモ繰延ベテ居ルヤウナ資材ノ狀況デゴザイマスノデ、只今直グニドウ斯ウト云フコトハ此處デ申上ゲルコトハ出來マセヌ、併シ非常ニ重要ナル路線デアルト云フコトハ、既ニ調査ヲ致シテ居ルト云フコトニ付テ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ退潮港ノ話デアリマスガ、是モ實地視察モシテ居リマスシ、又話モ聞イテ居リマス、良イ港デアリ、且ツ色々ナ調べヲ其所ニ付テ行ツテ居ル有様デアリマス、併シ港灣ノ問題モ鐵道同ジヤウニ、丁度今色々ナ關係デ取急イダ所ガ申ス進行シナイヤウナ譯デアリマス、今日直グドウスルト云フヤウナコトヲ、此處デ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、非常ニ宜シイ所デアルト云フコトニ付テハ、總督府ニ於テモ考ヘテ居リマス、其ノ程度デ御諒承願ヒタイト

○中野實吉君 大變満足シマシタ、私ハ東
北ナルガ故ニ東北ニ最良スル譯デハナイ
ガ、ドウモ荷物が飽和状態ニナル方面ニバ
カリヤルカラ、經濟上ノ調和ガ取レナイ、
新潟ナリ、伏木ナリ、敦賀ナリ、境ノ方ナリ
ニ十分吞吐シ得ル港ガアル、ソレカラ又石
炭ナドモ其ノ方ノ工場デ使ツテモ、相當算
盤ノ合フ場所ガ澤山アルノデスカラ、ドウカ
日本海モ大イニ利用シテ行クト云フ方針ヲ
立テテヤツテ戴キタイ殊ニ咸鏡南道ナドハ
マダ朝鮮トシテハ開ケナイ方デ、餘程寶物
ガ素人目デ見テモアルト思フノデアリマス、
只今ノ政務總監ノ御答ヘデ非常ニ満足ヲ致
シマシタ、朝鮮ハサツキモ申上ゲタヤウニ
マダ固マラナイ、文化ノ程度モ、經濟ノ程
度モ、治安モマダ固マラナイ、若シ固
マツタト云フナラバ總督府ノ豫算カラ治安
維持費ヲ全部削除スルト云フ主張ヲ私ハシ
ナケレバナラナイ、固マラナイカラ治安維
持費ヲ貰ツテ居ルト云フコトハ明カデアリ
マス、固マラナイ朝鮮ヲスツポカシテ、其
ノ先ノ滿洲ヤ支那ニウツツヲ抜カスト云フ
コトハ、恰モ本妻ヲ粗末ニシテ妾ニ魂ヲ奪
ハレルト云フノト同ジデアル、ドウゾ朝鮮
總督府ハ朝鮮ノ爲ニシツカリヤツテ新附ノ
民ニ一層信賴ヲ受ケルヤウニシテ戴キタイ
ト云フコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終
リマス

○守屋委員長 外ニ質疑ノ通告ハアリマセ
ヌカ

○服部(英)委員 朝鮮ノ政府委員ノオイデ
ニナル際ニ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、
既往ニ於テ朝鮮總督府ノ大ナル政策トシテ、
産金ノ事業ト羊毛ノ事業ガアツタノデアリ
マスガ、産金ノ問題ハ姑ク措クト致シマシ

テ、羊毛ノ關係ニ付テ伺ヒタイノデアリマ
ス、現在ニ於ケル羊毛ノ數及ビ産出ハドノ程
度ノモノデアリマスカ、ドレ程ノモノガ内
地ヘ供給サレテ居ルカ、其ノ程度ヲ伺ヒタ
イ、次ニ將來ノコトデハアルガ南方ニ於テ
濠洲ガ今日日本ノ手ニ入ルト云フト、是レト
其ノ附近ノ土地カラ非常ナル羊毛ガ入ツテ
來ル見込ガ十分デアリマス、ソレトノ關係
ニ付テハ何方既ニ方策ガ立テラレテ居ル
カ、ドウデアアルカ、ソレニ付テ御伺ヒ致シ
タイノデアリマス

○大野政府委員 只今ノ羊毛ノ問題、羊ノ
問題デスガ、此ノ頭數ハ一寸申上ゲラレナ
イコトニテツテ居リマスノデ、左様御諒承
ヲ願ヒマス、但シ當初計畫ヲ立テマシタ通り
ニハ參ツテ居リマセヌガ、其ノ半分位ノ程
度ニ達シテ居リマスト御承知ヲ願ヒマス、
ソレカラ只今御話ノ濠洲方面トノ關係ト云
フコトニ付キマシテハ、マダ具體的ニ打合
セタリ、協議ヲ致シタリ致シテ居リマセヌ
ガ、私ノ當席ダケノ考ヘヲ申上ゲマスレバ、
是ハヤハリ交通ノ關係、色々ナ關係ガアリ
マスルノデ、朝鮮ニ於テハ少クトモ今マデ
通りノ計畫ヲ續ケテ行ク積リデゴザイマス、
ソレハヤハリ滿洲ニ對スル關係カラ致シマ
シテモ、朝鮮ニ於テ細羊ヲ飼育スルト云フ
コトハ、非常ナ大キナ意義ガアリマスノデ、
左様ナ意味カラダケデモ、此ノ計畫ヲ只今
ノ所變更スルト云フヤウナ考ヘハ持つテ居
リマセヌ

○服部(英)委員 サウシマスルト、羊毛ノ
政策ニ付テハ從來通りデアツテ、別ニ變更
ハナイト云フコトニ承ツテ宜シウゴザイマ
スカ、業者ガ脅威ヲ感ズルト云フヤウナコ
トハナイノデスカ

○大野政府委員 採算上ノ問題ハ——マダ
獎勵ノ初メデアリマスルシ、濠洲等ノ詳シ
イ採算ヲ突合セテ見マセヌガ、ソレハヤハ
リ勿論朝鮮ノ方ガ困難デアルト思ヒマス、
併シ仕事ノ必要性カラ申シマスルト、ヤハ
リ彼處デ或ル程度ノ羊毛ヲ作ルト云フコト
ハ、色々ノ點カラ必要デアルト考ヘマスノ
デ、從前ノ通り諸種ノ方策ヲ續ケテ行ク積
リデゴイザマス

○服部(英)委員 宜シウゴザイマス

○守屋委員長 委員長ノ手許ニ通告サレマ
シタ質問者ノ質問ハ是デ終ツタノデアリマ
ス、杉浦武雄君カラハ通告ハゴザイマシタ
ガ、御取消ガゴザイマシタカラ、質問ガナイ
モノト認メマス——他ニ御質疑ガナケレバ
此ノ程度デ質疑ヲ打切リタイト思ヒマスガ、
如何デセウカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○守屋委員長 御異議ガナイモノト認メマ
シテ、質疑ハ此ノ程度デ打切ルコトニ致シ
マス、明日ハ午後一時カラ會議ヲ開キマシ
テ討論ニ入りタイト思ヒマス、本日ハ是ニ
テ散會致シマス

午後二時十六分散會

第六類第一號 委員會議錄 第五回 昭和十七年一月二十八日
昭和十五年法律第六十九號中改正法律案(支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル件)外三件

昭和十七年一月二十八日印刷

昭和十七年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局